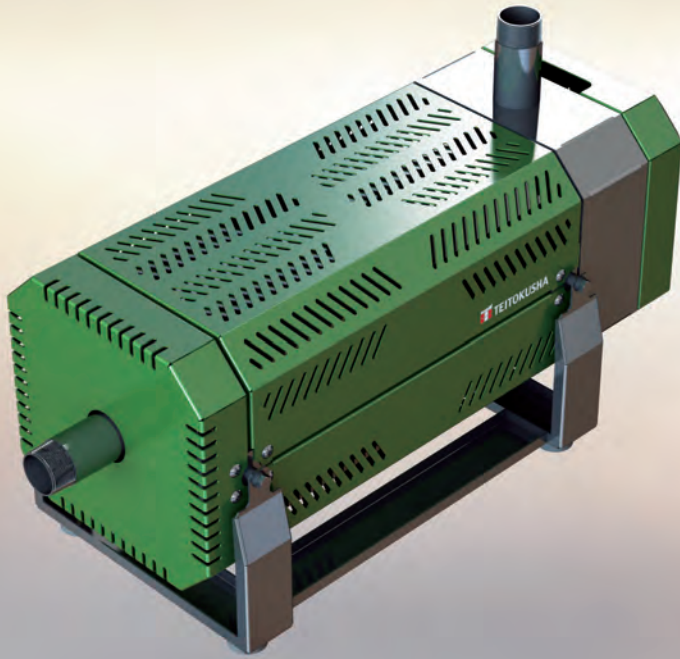


# 耐熱・絶縁技術で工業用 ヒーターメーカーへ躍進

企画力  
自信有  
オンライン  
ワン技術  
メイド  
イン  
ジャパン  
試作可  
小ロット



新製品の熱風発生装置

## 【業務内容】 耐火レンガは 明治期から製造続ける

明治24年の創業以来、耐火物専門メーカーとして歴史を重ね、現在もパイオニアとして電気炉用耐火レンガや碍子<sup>がし</sup>を製造している。一方で、昭和62年に新事業として工業用電熱ヒーターの製造にも乗り出した。

最高使用温度1,200℃に対応し、研究用から一般工業炉まで使えるセラミックファイバーヒーターや、自動車用ガラスの曲げ加工や半導体回路形成の前処理工程などクリン度が求められる環境に適した金属フレームヒーターなども手がけ、現在では主力製品へと成長している。

## 【強み】 碍子やセラミック原料 調合にノウハウ

ヒーターの開発や製造には、耐火レンガや碍子製造を通して培ってきた耐熱や絶縁技術が数多く生かされている。同社が得意とするのは、高温領域の絶縁性、耐熱衝撃性に優れたセラミック碍子を組み込んだ帯状金属発熱体ヒーター製作だ。

帯状金属発熱体は丸線発熱体と比べ熱が炉内に素早くかつ均一に行き渡るといふ特徴を持っている。熱膨張による変形を抑制したり特性を引き上げたりする独自の加工技術や、セラミック原料の調合技術を応用した放射率変換塗料を開発し、表面に焼き付けることでヒーターの高性能化も実現している。

## 【製品開発】 全社員からアイデア募る

北村公男社長の「歴史の長い会社こそ新しいことへのチャレンジが必要」という

思いから、4年に1回開催される大規模展示会の前などには社内コンペや技術検討会を実施して、部門や年齢を問わず全社員からアイデアを募る。

平成25年の展示会前には社内から10件のアイデアが集まり、3件の特許を出願した。そのうち平成28年に上市した熱風発生装置は金型の予熱用などに今後のさらなる需要拡大が期待される。北村社長は「技術は生命線。さらにイノベーションを推進できる会社になりたい」と力を込める。

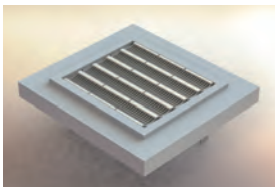
## 【後の展望】 本社工場を移転統合、 経営や生産を効率化

石英加工技術を持つランプヒーターメーカーと新たに技術提携し、製品の共同開発を進めている。石英管ランプヒーターは、発熱体が石英ガラスで覆われているため異物の混入が少なく、昇温スピードが速いという特徴があり、「貞徳舎」の均熱性の高い電熱ヒーターと組み合わせることで、より効率的な「ハイブリッドヒーター」ができるという。

また、今津工場（大阪市鶴見区）敷地内に新工場の建設を進めている。平成30年3月をめどに本社や本社工場の機能をすべて今津工場内に移転統合し、経営と生産の効率化を図る方針だ。



ヒーターの組立の様子



均熱に優れた工業用電熱ヒーター

## 当社の歴史



125年以上の歴史と実績で培われた技術やノウハウを基に、熱に関するあらゆる相談に対応します。お客様の悩みや課題には徹底的に向き合い、解決するまでとことん付き合うことをモットーにしています。日々、新しい技術の開発に取り組み、「こんなヒーターが欲しい」という要望を形にします。

代表取締役社長 北村 公男さん

<http://www.teitokusha.co.jp/>

### 主な事業内容

工業用電熱ヒーター、耐火物の製造販売

### 主な取引先(納入先)

旭硝子(株)、(株)日立国際電気、(株)カネカ、轟産業(株)、中外炉工業(株)、川惣電機工業(株)など

### ●住所

〒536-0015  
大阪市城東区  
新喜多1-5-32

- TEL 06-6933-5000
- FAX 06-6933-7068
- 創業 明治24年
- 設立 昭和24年4月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 42名

ISO 9001  
ISO 14001

大阪29

大阪29